

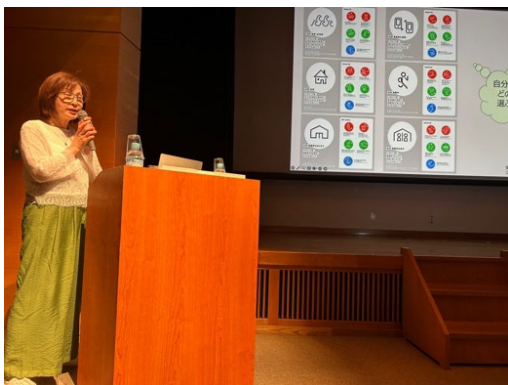
防災・減災ワークショップ 2026 を開催しました（2026/7/25）

テーマ：産学官連携ワークショップ、防災教育
会 場：静岡県地震防災センター

2026 年 7 月 25 日（土）、当研究所と公益財団法人中部科学技術センター、静岡県地震防災センター、静岡大学防災総合センターの 4 者が共催する、小学生とその保護者を対象にした防災・減災ワークショップ「ヤバい！逃げる“かがく”は役に立つ」が開催されました。

この防災・減災ワークショップは、当研究所が 2019 年 1 月に中部科学技術センターと連携に関わる協定書を取り交わしてから、継続して毎年開催しているものです。2020 年からは静岡県地震防災センターと静岡大学防災総合センターも加わり、毎年静岡県地震防災センターで開催しています。この取り組みは第 12 回ジャパン・レジリエンスアワード（強靱化大賞）優秀賞を受賞したものです。今年度の参加者は計 67 名（子ども 26 名、保護者 28 名、ファシリテータとして参加した静岡大学生 13 名）になりました。プログラムは三部構成となっており、第 1 部の「聞いて学ぼう」は、東日本大震災を含めた過去の災害の教訓を踏まえ現在の防災の大切さを伝えるものです。第 2 部の「体験してあそぼう」では、起震台の地震体験からエムリバージオモデルを使った川の形成実験などを見学し、防災・減災スタンプラリーにも取り組みました。第 3 部の「みんなでシェアしよう」は、グループに分かれて振り返りを行い、最後には全体で発表会を行いました。

当研究所は、親子を対象とした防災を伝える活動を通じて、研究成果の社会実装を加速させ、市民一人ひとりの防災意識と行動変容を促し、社会の防災力向上へと繋げる活動を継続してまいります。



ワークショップの様子



ワークショップの様子



ワークショップの様子



ワークショップの様子

文責：保田真理（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）